

まるで、色々な生物が自分に合った居場所を見つけられるビオトープのようだ。

設立者のミカールさんは、このセンターは家庭の様に、居心地良く、安心できるようにできていて、その上教材や工具、そして仲間が、そろっている所だと話していた。ゆくゆくは、ここの二倍ぐらいの大きさで、もっと沢山の多様なスペース（シヤボン玉、と言った）があるセンターを作るのが夢だそうだ。

●センターの運営●

このセンターの運営はどのようになっているのか。
児童館やフリースクール、学校とはどこが違うのか。

まず児童館との大きな違いは、FEELは、学校が終わってから行くところではなくて、完全に学校（公立でも、私立でも）の代わりになる教育の場だということである。開館時間内には、いつでも来て、他の人たちとプロジェクトを立ち上げたり、遊んだりする、出会いと学びあいの場所なのだ。また、このセンターはHSの家族専用なので、子供の教育内容などに関しての責任は各家族の保護者にある。

法的には協会（association）で、ミカールさん夫妻が設立者で理事長である。会員には、HSを実践している家族ができる。家族単位で会員になるので、子供が何人いても会費は同じだ。おじいちゃん、おばあちゃんなども自動的に会員になる。会費は一家族につき、月200フラン（2万円程）で、それで家賃やその他の費用を賄っている。

会員になれば、月、火、木、金曜日の9時半から午後5時まで、自由にセンターを利用することができる。12才以下の子供は大人（保護者、または他の大人）の付き添いが必要だ。保護者が、センターでの自分の子供の教育、行動に対して責任を持っている。

いまは、大体25家族が会員で、「45人の大人で70人の子供の成長を見ているんですよ。」と、ミカールさんは笑った。ここの広さでは、この数が最適だそうだ。

私たちが見学したときには、食堂のテーブルで、自分の子供と勉強しているお母さんや、体育館の小人小屋の1つで4-6歳の子供を5人程あつめて読みを教えているお母さん、別の小屋では6-8歳ぐらいの子供とシュタイナー授業をしているお母さんがいた。図工室では、家庭教師が、3-4人の子供とガテーニョ式数学をしていて、図書室ではこれまた小さいグループで、ドイツ語を勉強していた。

お昼ご飯も、家族ごとばらばらだったり、一緒に作って食べたり、子供だけで集まって食べたり、自由である。その日の午後は、2-3人の女の子がお芝居を作ったと言うので、見たい人は体育館に集まってそれを見たり、ある親の知合いがロッククライミングをすと言うので、それを体験してみたり、仮装して遊んだり、ミシンの使い方を教えてもらったり。

「本当に「勉強」をする時間は、一日に平均1時間から1時間半です。それでも学力試験は問題なくパスします。自由に遊んだりしている間に子供達は色々な事を吸収しますからね。」

親は、勉強を教えたり、子どもと遊んだり、アトリエの準備をしたり、パソコンを持ち込んで仕事をしたりしている。

誰が居るかによって、その日に何をするか即興で決めることもあれば、会員の家族が相談して、必要に応じて前々からレッスンのプログラムを決めておくこともある。「ニーズはどんどん変化するわけですから、センターのあり方も生き物の様にそのつど変わっていきます。いつも同じ必要はないわけですよ。」

このセンターで私達が提供したいのは、柔軟な、しかしきちんとした枠組みです。その枠組みの中で、色々なやり方で、子供を育てるわけです。」

「センターを開いたときは、どの家族もスイス風に個人主義者でね、自分の子供を連れてやってきて、自分の子供と勉強してまた帰る。そしてお昼には皆が同じスーパで買いものをしていて出会ったり。そんな事が続くうちに、役割を分担した方がいいんじゃないか、とか、家族どうしの話合いが出来てきたわけです。」

「今は、週ごとの時間割りが貼ってありますね。時間割りのあるなしも、皆で話し合って決めます。たとえば、あるときは、時間割りがみっちりつまっていて、本当の学校の様になった事もあります。そうしたら、学校の休みと同時に皆休暇をとって、二週間の間、センターに誰も来なかった事がありました。それを知って、みんなびっくりして、その機会に、私たちの目指す教育はなになのかをまた話し合うことになりました。」

センター自身が生き物のように、進化していく。

「ここにいる家族は、それぞれの方針が違いますから、一緒に生活したり、暮らしたりする為には、共通点が少なすぎるが多いです。それでも、このセンターの枠の中では、協力しあって子供を育てている。お互いの自由を妨げない、自分とは違う考えの人を排除しないため、柔軟だけど譲れない枠組み、軸が必要です。この軸が守りきれなければ、組織自体が守れない。」

たしかに、教育方針が違って、お互いを尊重しあってオープンでありつづけるという決まりがなければ、いつかは閉鎖されたサークルになってしまう危険がある。

枠組みを守る、柔軟で、しっかりした理事長がいる事がこのセンターの成功の鍵なのだと思います。

(続く)

◆第104回かごしま朗読Cafe in「音楽館Rain」

Tendoku (天文館で朝読書) から誕生した「かごしま朗読会」です。昨年に続き「音楽館Rain」(天文館ゴンザ通り) で開催します。当日は朗読したい作品をご持参ください。お一人の朗読時間は5分程度でお願いします。朗読の前か後にご自身で作品や作者(筆者)について1分程度でご紹介ください。当日は最後にリクエスト朗読作品1編を選びます。最高得票者は再度朗読をお願いします。

日時: 2020年2月16日(日) 10:00~11:30

場所: 音楽館Rain
〒892-0842 鹿児島市東千石町15-15

TEL: 099-226-8464 (連絡先: 090-1346-3090: かごしま朗読会)

内容: 朗読&鑑賞&リクエスト(時々音楽&朗読作品投票)

参加者: 20名+α 参加費: 飲み物代。ランチセット(800円)も美味しい!

※ 朗読される作品はご持参ください。(見学参加もOKですが、参加費の飲み物代はご負担ください)

※ 普段、「音楽館Rain」は店休日ですが、ご厚意により10:00からの開店です。

※ 駐車場は周辺のパーキングをご活用ください。

* 参加ボタンを押すか、次のメルアドへ申し込みください。 kanoyu@po.synapse.ne.jp (かごしま朗読会)

「音楽館Rain」鹿児島市東千石町15-15

☆「音楽館Rain~Music cafe & pub~日録」

(ブログ) <http://cafefolkpub46rain.chesuto.jp/> TEL: 099-226-8464

====編集日記====

皆様に支えられて「日刊・中高MM」第4478号です。

スイスのブランド那由多さんの「スイスの教育状況」、お届けします。

- ・センター自身が生き物のように、進化していく。
- ・「ここにいる家族は、それぞれの方針が違いますから、一緒に生活したり、暮らしたりする為には、共通点が少なすぎるが多いです。
- ・それでも、このセンターの枠の中では、協力しあって子供を育てている。お互いの自由を妨げない、自分とは違う考えの人を排除しないため、柔軟だけど譲れない枠組み、軸が必要です。この軸が守りきれなければ、組織自体が守れない。」
- ・たしかに、教育方針が違って、お互いを尊重しあってオープンでありつづけるという決まりがなければ、いつかは閉鎖されたサークルになってしまう危険がある。
- ・枠組みを守る、柔軟で、しっかりした理事長がいる事がこのセンターの成功の鍵なのだと思います。

たいへん興味深いです、続きが早く読みたいものです。

2020年も一ヶ月経過しようとしています。今年になってやっと2回ですね。3月末まではご容赦下さい。原稿ご執筆の皆様には、恐縮ですが、遠慮なくお送りいただければ幸いです。順次編集発行致します。

皆様のご意見・ご感想お待ちしております。
sukaji@po.synapse.ne.jp
梶原末廣【インターネット編集長】

◆◇
「中・高校教師用ニュースマガジン」2000年3月26日創刊
編集・発行 梶原末廣 sukaji@po.synapse.ne.jp
◎バックナンバー
<http://archive.mag2.com/0000027395/index.html>
☆日刊「中高MM」の登録と解除
<http://www.mag2.com/m/0000027395.html>

<http://www.synapse.ne.jp/~kanoyu/kyoushi/index.html>

●日刊【中高MM】●マガジンID: 0000027395

■発行システム：インターネットの本屋さん『まぐまぐ』

<http://www.mag2.com/>

Copyright (C) 2000-2020 ChuukouMM INC

全文、または一部の記事の無断転載および再配布を禁じます。

☆☆

☆☆☆2020年☆☆

【2月】

- 01 「未来教育霧島プロジェクト」(44) 梶原末廣(鹿児島)
- 02 「新教育をみつめて」(70) 土橋英光(大阪府)(鹿児島)
- 03 「幸せをトレーニングする」(16) 佐伯 真哉(鹿児島)
- 04 「環境問題について」(224) 枝廣淳子(千葉県)
- 05 「なにかが見える、描こうということ」(18) 岡崎あかね(大阪府)
- 06 「鈴木敏恵の未来教育インフォメーション」(18) 鈴木敏恵
- 07 「島に、生きる。」(96) 山下賢太(鹿児島)
- 08 「なにかが見える、描こうということ」(17) 岡崎あかね(大阪府)
- 09 「朗読Cafeネットワーク」(27) 梶原末廣
- 10 「南薩摩の風」～南薩の田舎暮らし～(39) 窪 壮一郎(鹿児島)
- 11 「僕らはみんな生きている」(170) 杉山武子(鹿児島)
- 12 「なにかが見える、描こうということ」(16) 岡崎あかね(大阪府)
- 13 「幸せをトレーニングする」(14) 佐伯 真哉(鹿児島)
- 14 「想いは南風に乗せて～あなたの心に」(72) 堂園晴彦(鹿児島県)
- 15 「未来教育霧島プロジェクト」(45) 梶原末廣(鹿児島)
- 16 「総合学習回顧録～小学生ママと総合学習」(113) 名生修子(兵庫県)
- 17 「旅をする本」(18) 丸山 晃氏(鹿児島)
- 18 「手紙プロジェクト」(6) 梶原末廣(鹿児島)
- 19 「プロジェクト志向でいこう！」(113) 若槻徹(島根県)
- 20 「子どもたちのわくわくアート」(143) 西尾環(熊本県)
- 21 「月刊 学び工房eiichi」(63) 原口栄一(鹿児島)
- 22 「教育への道～グローバルアカデミー～」(17) 岡本尚也(鹿児島県)
- 23 「異文化の面白話」(18) 大迫 友(アメリカ)
- 24 「CLIL(内容言語統合学習: Content & Language Integrated Learning) 教育」(4) 山西敏博(鳥取県)
- 25 「学びが深まるアクティブラーニング(A L)の授業設計」(39) 水野正朗(愛知県)
- 26 「スイスの教育状況」(6) ブランド那由多(スイス)
- 27 「映画の中の先生たち」(49) 木原ひろしげ(福岡県)
- 28 【休刊】
- 29 「ドイツ・シュトゥットガルトでシュタイナー教育を学ぶ」(24) 吉川岳彦(ドイツ)
- 30 「島に、生きる。」(95) 山下賢太(鹿児島)
- 31 「スイスの教育状況」(6) ブランド那由多(スイス)
- 32 「言葉にすること」から始まる、世界へ振りかける“ひとつまみの希望” (2) 石川世太(鹿児島県)

- 15 「総合学習回顧録～小学生ママと総合学習」(113) 名生修子(兵庫県)
- 16 「旅をする本」(18) 丸山 晃氏(鹿児島)
- 17 「手紙プロジェクト」(6) 梶原末廣(鹿児島)
- 18 「プロジェクト志向でいこう！」(113) 若槻徹(島根県)
- 19 「子どもたちのわくわくアート」(143) 西尾環(熊本県)
- 20 「月刊 学び工房eiichi」(63) 原口栄一(鹿児島)
- 21 「教育への道～グローバルアカデミー～」(17) 岡本尚也(鹿児島県)
- 22 「異文化の面白話」(18) 大迫 友(アメリカ)
- 23 「CLIL(内容言語統合学習: Content & Language Integrated Learning) 教育」(4) 山西敏博(鳥取県)
- 24 「学びが深まるアクティブラーニング(A L)の授業設計」(39) 水野正朗(愛知県)

- 2 5 「スイスの教育状況」(6) ブランド那由多(スイス)
- 2 6 「映画の中の先生たち」(49)木原ひろしげ(福岡県)
- 2 7 【休刊】
- 2 8 「ドイツ・シュトゥットガルトでシュタイナー教育を学ぶ」(24)吉川岳彦(ドイツ)
- 2 9 「島に、生きる。」(95)山下賢太(鹿児島)
- 3 0 「スイスの教育状況」(6) ブランド那由多(スイス)
- 3 1 「言葉にすること」から始まる、世界へ振りかける“ひとつまみの希望”(2)
石川世太(鹿児島)

【休刊中】

- 「ヒサシは歩くよ何処までも」(30) 大岩根 尚(鹿児島)
- 「立ち止まってメモしたことを」(22)北原妙子(熊本県)
- 「学校英語と実用英語」(17)浜田 雅暢(鹿児島)
- 「自己物語探究の旅」(13)笹木陽一(北海道)
- 「特別支援教育の在り方」(18)吉田博子(東京都)
- 「ファシリテーション・グラフィックをはじめよう」(16) 藤原友和(北海道)
- 「教師のための働き方マネジメント」(2)長瀬拓也(京都府) 「森知子の旅と本」(3) 森知子(スペイン)
- 「生徒へ送る心のメッセージ~教師のための新しい視点~」(66)
桑原規歌(愛知県)
- 「雑感・相手の立場」(47)西澤俊英(滋賀県)
- 「リフレクションの探求と実践」(13)中島 久樹(東京都)

=====

【読者アンケート】本日の作品はいかがでしたか？

<http://clap.mag2.com/driacrisur>

=====

☆☆

◎このメルマガに返信すると発行者さんにメッセージが届けられます
※発行者さんに届く内容は、メッセージ、メールアドレスです

◎中・高校教師用ニュースマガジンの配信停止はこちら
⇒ <https://www.mag2.com/m/0000027395.html?l=fqt1741b5f>

▽あなたにおすすめのメルマガ【Pickup!】

●石渡浩の不動産投資を本業に
—保証人無しでも融資を受け自己資金にレバレッジをかけて家賃年1億円越えを—
<https://www.mag2.com/m/0000279415.html> 週刊

大学院修了時に資本金990万円で作った投資不動産保有会社の石渡住宅サービスを9年後の2016年に上場企業フィンテックグローバル子会社ベターライフサポートホールディングス等に約5億円で売却(株式譲渡)して上場会社連結子会社にして法人不動産投資を成功させた石渡浩が、自己資金数千万円規模の一般投資家さんを主対象に、銀行融資を活用してアパート経営を成功させ不動産賃貸業を本業にするためのノウハウを伝授します。

主著：『たった4年！ 学生大家から純資産6億円を築いた私の投資法— 借りて増やす技術—』ソフトバンククリエイティブ(2012)

★発行者webもご覧ください↓
<http://ishiwatahiroshi.com/>

▽『マネーボイス』人気記事トップ5

「日本人は早急に資金を海外に移せ」天才投資家ジム・ロジャーズが警告する真意とは
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2fa47947e49>

世界同時不況の再来は確実。その時、日本人は無差別リストラで貧困層に落ちる
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2fa4794c0b8>

大塚家具「父娘共倒れ」の可能性？ お家騒動から早5年、両社とも経営危機へ
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2fa4794dc10>

消費増税対策のポイント還元「効果ナシ」が6割超えの衝撃。中小店舗の手間が増えただけ
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2fa4794f767>

決算シーズンを見逃すな…企業の業績変化を捉える絶好のチャンス-PR-
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2ea4140c56e>

『マネーボイス』 <http://i.mag2.jp/r?aid=a5a67f3f41df2f>
専門家と個人投資家の本音でつくる総合金融情報メディア

▽注目の著者 独占インタビュー！

MB氏「素材はユニクロで十分。格好いいファッションの秘密を理論で説明します」
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2f94e0c48a1>

「人の悩みは最高の教科書。稼ぐ力を伸ばすのに必要な要素は2つです」—西谷信広氏
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2f94e0c67e9>

起業のプロ・新井一氏「起業で成功する人には共通点があることに気が付きました」
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5e2f94e0c8ef0>

—————[PR]—————

年収2000万円以上の求人特集
普段あまり見ないヘッドハンター
ならではの求人を覗いてみませんか？

<https://i.mag2.jp/r?aid=Ma1064> —[PR]—————

■まぐまぐ大賞2019 ついに結果発表

各ジャンルの専門家が勢ぞろい。総合大賞は誰の手に？
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5df869bb0e795>

注目の新人賞は？いま、このメルマガが熱い！
<https://i.mag2.jp/r?aid=a5df869bb11e4a>

—————【広告するなら、まぐまぐ！】—————

大量に配信、確実な登録。メルマガ広告はクリック先のユーザー登録に強い！
30種類以上のメニューから、お客様に最適なプランをご提案いたします！
☆広告のお問い合わせ⇒ <http://www.mag2.co.jp/contact/adinfo.html>
☆メルマガ読者を増やす⇒<http://www.mag2.com/sv/menu/>
